

〈あきぎん〉地域共創型ビジネスインキュベーションプログラム 2022-2023 採択先の決定について

株式会社秋田銀行（頭取 新谷 明弘）は、地域経済の新たな担い手の創出に向けた施策の一環として、「〈あきぎん〉地域共創型ビジネスインキュベーションプログラム^(注) 2022-2023」を実施しております。このたび一次審査・二次審査を経て、下記のとおり採択先を選出しましたのでお知らせいたします。

採択された4先につきましては、事業の実証資金を提供するとともに、事業開発ノウハウの習得、専門家による伴走支援、新規顧客や協力事業者とのマッチング機会の提供など、当行ネットワークを活用しながら、事業の確立・成長に向けて多面的に支援してまいります。

当行は、起業・創業支援を通じた新たな地域産業や雇用の創出に積極的に取り組んでまいります。

(注) 〈あきぎん〉地域共創型ビジネスインキュベーションプログラムとは、事業化や事業成長を目指す「起業家」、「第二創業者」を対象に、募集・審査を行い、地域との共創や専門家と連携した伴走支援を実施し、事業成立および事業成長を支援することを目的としたプログラムです。

記

○ 起業・創業部門

事業者名	プラン名称
一ノ関 優吾	サブスク冷凍お弁当宅配サービス「MANMA (マンマ)」
川又 伸文	ナショナルパーク十和田湖を秋田から世界に発信し地域経済に活力を！
中野 敦史	大切なご記憶をご家族へ「memorec (メモレコ)」

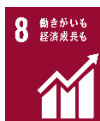
○ 第二創業部門

事業者名	プラン名称
武藤 元貴	点字普及を促進する「点字レーザーバンド」

○ 採択特典

項目	内容
集合レクチャー	事業化および事業成長に必要な知識を習得する。
メンタリング	事業実証資金として各20万円を提供し、現状の仮説（事業プラン）にもとづく事業検証を実施することで、事業化および事業成長につなげる。
ビジネス交流会	新規顧客や協業パートナーとなる県内企業とのマッチングを強化し、持続的なビジネスモデルの基盤を構築する。

(以上)



SDGs (Sustainable Development Goals)

2015年に国連で採択された持続可能な開発目標であり、2030年までに解決すべき世界的優先課題 17 目標と目標を達成するための 169 のターゲットが示されています。

(別 紙)

〈あきぎん〉地域共創型ビジネスインキュベーションプログラム 2022-2023

採択先のご紹介

【起業・創業部門】



一ノ関 優吾

(プラン名称) サブスクお弁当宅配サービス「MANMA (マンマ)」

(事業地) 秋田市

(プラン概要)

- お弁当宅配サービス「MANMA」をサブスクリプションにて展開する。
- 本事業プランを第一歩として、本先が掲げる「秋田再生事業」の実現を目指す。



川又 伸文

(プラン名称) ナショナルパーク十和田湖を秋田から世界に発信し地域経済に活力を！

(事業地) 鹿角市

(プラン概要)

- 十和田湖八幡平国立公園で体験型観光の拠点づくりを行う。
- ふるさと納税事業、ECサイト事業を活用した地域事業者のブランディングを行う。
- 観光の力で地域の雇用を生み出すとともに、地域に活力を取り戻すことを目指す。



中野 敦史

(プラン名称) 大切なご記憶をご家族へ「memorec (メモレコ)」

(事業地) 秋田市

(プラン概要)

- 親世代の「思い出や子供への思い」などの記憶をプロによるインタビュー形式で録音し、商品として提供する。
- 親の思い出代行業のようなサービスにより、本来受け継がれる親世代の記憶が消えていく問題解決に挑戦する。

【第二創業部門】



武藤 元貴

(プラン名称) 点字普及を促進する「点字レザーバンド」

(事業地) 秋田市

(プラン概要)

- 点字レザーバンドの制作および販売を行う。オリジナルメッセージの点字や、レザーバンドの形状変更にも対応する。
- 本事業プランにより「視覚障害者の不便がない世界」、「健常者・視覚障害者が分け隔てなく点字に親しみのある世界」、「視覚障害者に彩のある世界」を目指す。

(以 上)